

2013年10月4日 高松テルサ

日本応用地質学会中国四国支部  
設立20周年記念シンポジウム  
『地域の自然・人・産業・文化を護る応用地質学』  
総括－中国四国支部活動に期待をこめて

横山俊治(高知大学)

『地域の自然・人・産業・文化を護  
る応用地質学』

課題1:「地域」をどのように捉えるか

地域(中国四国地方)の自然と地域社会の特質をどのようにとらえるか

課題2:特定地域の自然(とくにジオ)を土台とする社会の有り様について、応用地質学はどのような提言をしていくか

- ・まずは、われわれの社会は自然を土台にしているということを通認識にする
- ・自然と人、自然と産業、自然と文化の間にある関係性を応用地質学的視点で明らかにする

応用地質学の使命

これは、文化地質学的な視点で見ることで、このような視点で自然と人との多様なかかわりを研究することは**応用地質学の使命**である

講演内容

①地質技術・地質技術力の展望

地質災害減災のための新たな追い風－鬼に金棒－(千木良雅弘)

「中国地方の応用地質学」にみる地域の地質技術力(横田修一郎)

あつかいやすくなった新技術が追い風になる、地質技術力は地域の社会や文化とのかかわりに目を向けることが重要

②災害と生きる(自然ハザードとの共生)

隠岐ジオパーク－地すべりとの共生－(浜崎晃)

豪雨による土砂災害に備える住民活動(中井真司)

活断層との共生(金折裕司)

地すべりの対策・管理を地域の持続可能な産業と捉える、地域防災について地学教育・防災教育の観点からの提言もわれわれの役割

③地質資源の恵み

深部地下利用と地下水(田中和広)

地下水の恵み(栢木智明)

災いを起こす地下水／恵みの地下水、持続可能な地下水利用においては、その地域の社会の有り様について考えるべき

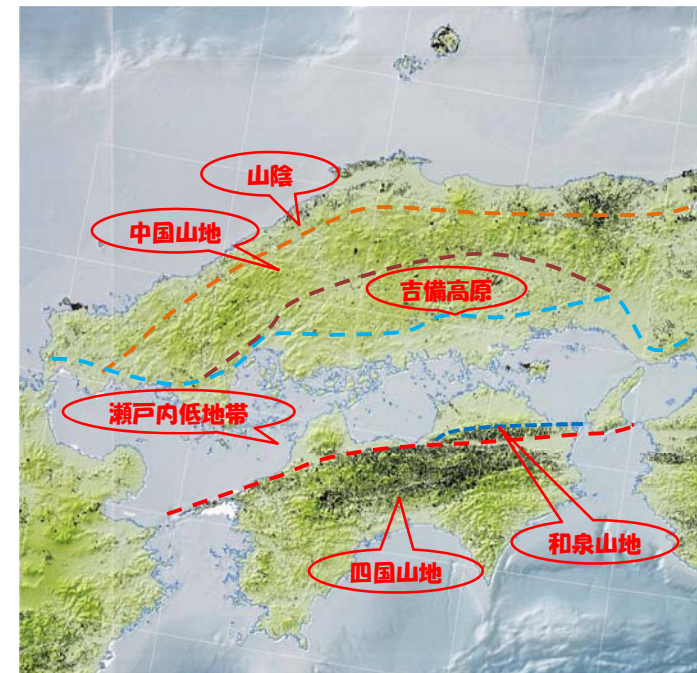
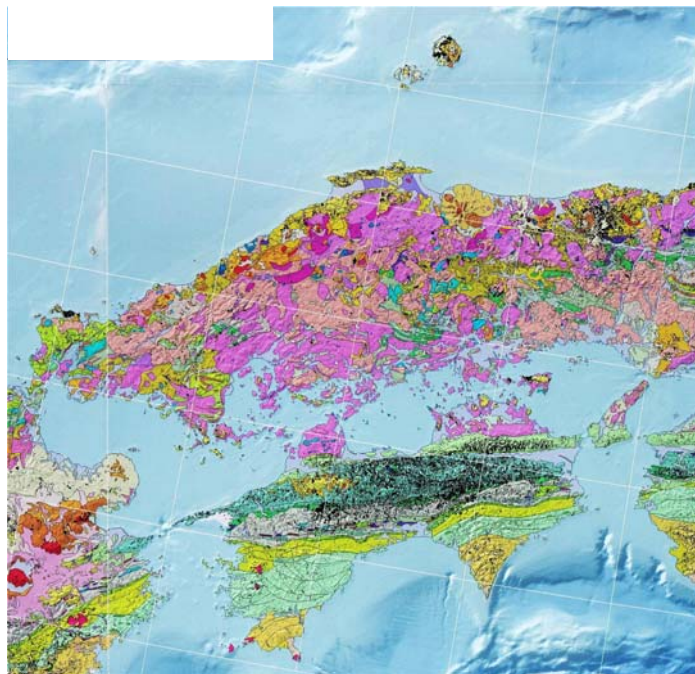
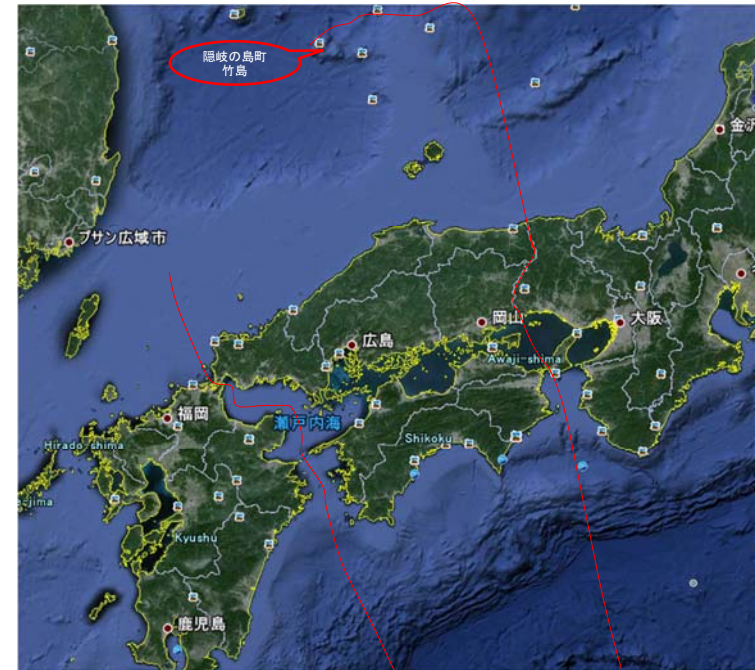
④地学教育、防災教育のアウトリーチ活動

ジオ鉄－鉄道施設から読む－(加藤弘徳ほか)

自然ハザードとの共生、護られるべき産業という側面が鉄道にある

# 中国四国地方はどのような自然 (ジオ的)特徴・条件をもっているか

中国四国支部が実行支配できる領土はどこか？





- 3つの海
- 標高差6500m
- 異質な地域が東西に帯状配列する

多様な地域をまるごと捉えることができるメリットが  
本支部の**魅力**であり、**財産**である

## 文化地質学の芽生え

- 他支部に先駆けて、本支部に芽生えた。  
そこには火付け役があった……

長谷川ほか(2006)の「おいしい讃岐うどんはどこでできるのか？—讃岐うどん有名店の地形・地質学的条件—」という刺激的なタイトルの論文

### 2013.9.9 隠岐が世界ジオパークに



### 石見銀山—2007世界遺産

「東西文明交流に影響を与え、自然と調和した**文化的景観**を形作っている、世界に類を見ない鉱山である」



**ジオ鉄—2009年四国から発進！**

2009年 JR四国土讃線

2010年 土佐くろしお鉄道  
ごめん・なはり線

2011年 JR四国予土線

P75. **ジオ鉄を楽しむ**  
—自然を楽しむ鉄道旅行—の提案  
(その2:ごめん・なはり線)

Let us enjoy Geo-Train - Second proposal of Geo-tours through Train Whistles, Gomen-Nahari Line

藤田 隆代 / 加藤 弘徳 / 横山 俊治  
Masayo Fujita / Hiromori Kato / Shunji Yokoyama

『ジオ鉄』第2弾はごめん・なはり線!!

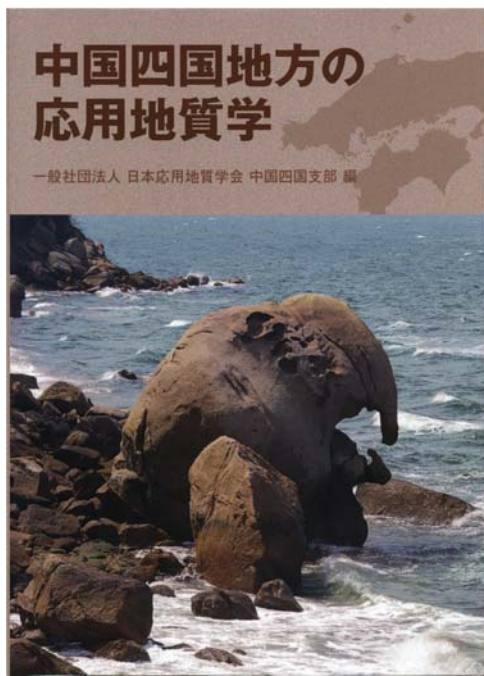
四国で最も新しい鉄道路線☆ごめん・なはり線

太平洋の風を浴びて走る  
ごめん・なはり線のジオ鉄  
～沿線の地形・地質を味わう～

ごめん・なはり線のジオポイント(Geo-point)の紹介

**石材文化の研究：山陰来待石、讃州豊島石、花崗岩・・・**

「小豆島ジオサイト探訪」見学地 大坂城残石・丁場場跡



**石の造形美**

象岩が表紙を飾る  
(2010)



**文化地質学を支部の柱に育てよう！**